

活動団体名	木屋平水源の里協議会
ホームページ	なし
所属/ 担当者名	NPO法人こやだいら／理事長 阿部義則
連絡先	0883-68-2305
活動地域	美馬市木屋平地域

● 活動の内容

1 高齢者の生活支援について

- (1) 地域は、過疎化・少子高齢化が進み（高齢化率53%）、診療所・日常生活・買い物移動等の支援が必要である。運転手45名、利用件数316件、人数650人、走行距離9,538.50km（H23年度実績）となり、また、会員数357名（H19年度220名）に増加し、地域住民の生活の一部となっている。
- (2) 一人暮らしの高齢者が年々増加傾向にあり、安否確認、生活相談、防災、防犯などの支援を見守りネットワークの組織を活用するなか、防災訓練などを実施することで、防災力の強化と治安の維持が図れ、不安の解消や安心・安全な生活につながっている。

2 環境整備、観光

- (1) 近年、不法投棄は、県内各所で問題になっている。特にドライバーによるポイ捨て、川遊び客による粗雑ゴミの置き去り等が多く、地域住民は大きな迷惑を受けている。今後、地域外各種団体と連携を取りながら、啓蒙活動を長期的に実施する。
- (2) 地域各所で見られていたホタルは、度重なる台風被害によりカワニナなどが埋没や流失をしたため、その再生に取り組んでいる。
- (3) 観光資源を地域外の目線で新たに発掘し、地域で新たな観光スポットとして連携発信し、客足の増加を図りたい。

3 農林業の再生（間伐の推進、地産地消の推進、特産品の復活）

- (1) 森林の環境整備に、間伐問題は取り組まなければならない重要課題であり、地域の雇用、交流、定住にもつながる。また、間伐材の再利用として、看板や防護ネットの支柱などに利用促進している。
- (2) 地域の特産品としてゆず栽培を行い、有機農法を取り入れ、消費者の安全・安心を基本に推進し、県外からの注文も増加している。地域の一般農家も有機栽培を行い、自ら地産地消を推進している。
- (3) 中尾山高原の栗園は、樹木の再生、有機肥料、低農薬による消毒などを実施することによって年々収穫量を増加させ、中尾山高原施設と連携をとり、秋の栗拾い等のイベントを行い、観光客の増加を図るとともに定着させている。

4 地域文化振興（伝統文化の継承、イベント事業）

- (1) 伝統芸能は、地域住民が地域の情勢を表し、住民が集い、ともに踊りを楽しむ、地域の娯楽として、また、農作物の収穫の奉納踊りの役割も含まれ、地域伝統芸能保存会が小中学生に指導し、継承されている。
- (2) 地域イベント事業として、夏秋期に帰省客と地域住民との交流の場所として地域に定着し、地域が行う様々な事業にも地元出身者の参加する機会が多くなった。



(過疎地有償運送送迎)



(見守り活動)



(特産品、栗づくり)



(地域イベント夏祭り)



(伝統芸能、中学生)

● 今後の課題及び展望

- (1) 過疎地有償運送事業における平成23年度の会員数357名を将来的に500名に増やしていく。
- (2) IT企業（サテライトオフィス）を誘致し、自然の中のビジネスで心身を癒し、地域はITを活用し、全国に発信する。
- (3) 高齢者が増加するなか、多くの支援者が必要となり、デイサービス、ホームヘルパーだけの支援では対応できないのが現状で、地域サポーターとして取り組みたい。



(地域課題検討委員会)